

## コロナ禍での 池上ハウスの取 組み

# ファミリー・ホスピス池上ハウス アクティブ・レポート

## 1. 考えながらコロナと戦う

### 1. 考えながら コロナと戦う

マスク、手洗い、消毒、検温などのコロナ対策だけではコロナとは戦えない。どのようにしたらコロナに打ち勝つことができるのか？ 今も職員みんなと考えながら、色々な対策を講じています。その一部をご紹介します

マスク・手洗い・消毒・検温はもちろんのこと、当ハウスでは特に「食堂」と「共有端末」に注意して予防策を講じています。職員が休憩に使用している食堂では、毎日テーブルなど人が触れるもの全てを消毒し、休憩時間中は窓も開放しています。テーブルも窓側に寄せ、会話による飛沫感染の予防に努めています

#### (1) 食堂のレイアウト



職員が共有しているパソコン端末、タブレットも消毒を行っています。さらに消毒後に抗菌効果があるといわれる“クリンネオ”も併せて噴霧しています。複数の医療機関で「食堂」と「共有端末」から感染拡大したという教訓を活かし、念には念を入れて予防を行っています

#### (2) 共有端末 消毒の様子



## 2. コロナ対策から価値を生み出す

ピンチはチャンスとよく言われますが、池上ハウスではコロナ対策を前向きな発想（業務改善など）に結びつけています。その一部をご紹介します

## 2. コロナ対策から価値を生み出す

コロナ対策のマニュアルや文書を色々つくってききましたが、なかなか読まないのが人の常。池上ハウスでは「安全デザイン」でみんなと情報共有を図っています。言語コミュニケーションは3割程度と言われていいますので、非言語コミュニケーションも重視しながら情報共有を工夫しています

### (1) 安全デザイン（視覚）からの情報共有



ご入居者にとって買い物も大きな楽しみ。コロナを理由に禁止するのではなく、どうやったらリスクを低減しながら実現できるのかをみんなで考えました。「移動スーパーとくし丸」様にご協力いただき、ご入居者に週1回の買い物を楽しんでもらっています。なお販売職員の消毒・手袋・マスク装着、ご入居者の手足消毒、車椅子の消毒などの対策も徹底しております

### (2) 移動スーパーでの買い物の様子



今年7月に行われる都知事選挙でのコロナ感染予防のため、5月に池上ハウスは「不在者投票指定施設」として東京都知事から指定を受けました。「投票したい」というご入居者の声に聴き、年初から準備を進めてまいりました

ファミリー・ホスピス池上ハウスの一コマ



ご入居者に「生きがい」を感じてもらおう空間に育んでいきます  
今後も池上ハウスの活動を報告させていただきます。よろしく願い申し上げます

## お問合せ

ファミリー・ホスピス池上ハウス  
センター長 小川 清久

〒146-0081

東京都大田区仲池上1丁目33-9

TEL：03-6410-5900

FAX：03-6410-5917

ご見学、ご入居に関するご相談などお気軽にご連絡ください